

令和6年5月20日

横浜市長 山中 竹春 様

一般社団法人 横浜水泳協会
会 長 森 野 弘

平素より、私どもの水泳の健全な普及・発展を目的とした活動対してご理解とご支援を賜り誠にありがとうございますと存じます。

横浜国際プールメインプールの継続利用について（お願い）

さて、横浜国際プールのメインプールの利活用の検討に際し、かねてよりお伝えしておりますが、（一社）横浜市水泳協会はメインプールの継続利用が必要であることより、継続利用を強く要望いたします。（ご参考：既発出文書ご参照）

また、従来開催の長水路競技についてサブプールを使用するとのことご提案につきまして、検討しましたが、多くの問題点があることから実現できないものと考えております。

あらためて要請いたします背景として、

令和6年2月27日開催の横浜市会令和6年度予算特別委員会にて熊坂スポーツ振興部長のご発言について、複数の水泳関係者から、神奈川県水泳連盟ならび（一社）横浜市水泳協会が横浜国際プールメインプール廃止にほぼ同意したとの理解がなされ、強い憤りを含んだ苦情がよせられております。

そのことを踏まえ我々、水泳団体への不信感を含んだ横浜国際プールのメインプール廃止反対署名活動も行われております。（5月15日に議会局へ提出済み1,585名の署名）

横浜市はすでに前出の令和6年度予算特別委員会について一般に公開していることから、我々の本当の意思である要請につきましても一般に明示する必要があることとから、要請内容を公開いたすこととなりましたことを併せてご連絡させていただきます。

また、今までのお話し合いに関し齟齬がございますことから、本件にかかわる今後のお話し合いにつきましては議事録化とその相互確認をいただきますようお願いいたします。

事情ご推察いただき、我々の意思であります横浜国際プールメインプールの継続利用について、ご配慮いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、（一社）神奈川県水泳連盟におきましても陳情書を追って提出いたす予定でございますことを申し添えます。（現在、（一社）神奈川県水泳連盟ホームページ上にて掲載、署名活動を展開いたしておりますのでご確認ください。）

以上